

一般社団法人日本形成外科学会  
2022年度小児形成外科分野指導医認定試験

2022年10月14日(金) 筆記試験 13時30分～14時00分【30分】  
場所:〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14-1  
岡山コンベンションセンター 4F「会議室405」

※本書は試験終了後回収いたします。

氏名	
----	--

《1》 Orbital hypotelorism を伴うものはどれか、2つ選べ

選択肢

- a) 三角頭蓋
- b) Crouzon 病
- c) ダウン症候群
- d) Binder 症候群
- e) 偽の正中顔面裂

《2》 正しいものを選べ

選択肢

- a) 口蓋裂単独発生群は男性に多い
- b) 片側唇顎口蓋裂の発生頻度は左側に多い
- c) 口唇口蓋裂の発生頻度は白人が最多である
- d) 口蓋系組織の発生は胎生 6 週ころに完成する
- e) 口唇裂の手術は通常生後 12～18 ヶ月を目安に計画する

《3》 小耳症について正しいのはどれか、2つ選べ

選択肢

- a) 両側例よりも片側例が多い
- b) 右側例と左側例の頻度は同程度である
- c) 内耳奇形を合併しやすい
- d) 外耳道の狭窄または閉鎖を合併しやすい
- e) 家族発生しやすい

《4》 22q11.2 欠失症候群について誤りを選べ

選択肢

- a) 鼻咽腔閉鎖機能不全を生じることが多い
- b) 精神発達の遅延を認めることが多い
- c) 心血管系の異常が合併することが多い
- d) 胸腺の過形成を認めることが多い
- e) 保険適応で Fish 法による確定診断が可能である

《5》手足の先天異常について、正しいものを選び

選択肢

- a) 巨指症は合指を伴わない
- b) Wassel VI型ではMP関節の不安定性を生じやすい
- c) 母指形成不全症 Blauth type VではMP関節不安定性を合併する
- d) Poland 症候群には母指多指症が合併する
- e) 強剛母指は乳児期の手術が推奨されている

《6》次の中で誤りを選び

選択肢

- a) 鳩胸の頻度は漏斗胸のおよそ1/10程度と言われている
- b) 漏斗胸に併発する病態として側彎がある
- c) Marfan 症候群では高率に漏斗胸を合併する
- d) 臍ヘルニアは3歳までに90%が自然治癒するとされる
- e) Poland 症候群では広背筋が欠損する

《7》Beckwith-Wiedemann 症候群について誤りを選び

選択肢

- a) 臍突出
- b) 巨舌症
- c) 片側顔面肥大
- d) 水晶体亜脱臼
- e) Wilms 腫瘍の合併

**裏面にも問題がございます（全10問です）**

《8》血管腫、血管奇形について正しいのはどれか、2つ選べ

選択肢

- a) Unna 母斑は salmon patch より自然消退しにくい
- b) 静脈奇形では動脈の流入を証明できることが多い
- c) 乳児血管腫において生後3週でのプロプラノロール投与は慎重にすべきである
- d) 低流速の静脈奇形では硬化療法は無効なことが多い
- e) 眼窩内動静脈奇形に対する手術では、予め塞栓術処置を行っておくのがよい

《9》関節部の癭痕拘縮について誤りはどれか、2つ選べ

選択肢

- a) 小児において発生しやすい
- b) Z 形成術が治療に有効である
- c) 術後の再拘縮は起こりにくい
- d) 伸側よりも屈側に発生しやすい
- e) 受傷後の早期リハビリが予防に有効である

《10》児童虐待を疑わせる小児のサインとして誤りを選べ

選択肢

- a) 表情が乏しく、無表情で笑わない
- b) 身体に不自然なあざや火傷などがある
- c) 乳幼児の重症頭部外傷
- d) 食事に対して執着心がない
- e) 基本的な生活習慣が身に付いていない